

平成29年2月15日発行

RIKKO SEKAI No.1073 力行世界 平成29年2月15日発行 (1)

2017年

2月号

年4回発行(1.4.7.10月号)

No.1073

(学法)日本力行会

R I K K O S E K A I



学校法人 日本力行会創立120周年・りっこう幼稚園開園70周年記念式典

創立1897年1月1日



目次

120・70周年式典	2~5	イヤーエンドパーティー	8~9
りっこう幼稚園だより	6~7	海外会員のたより	10・11
いもほり遠足・収穫感謝祭		会員ご案内・役員人事	12
クリスマス会・もちつき			

日本力行会創立120周年及び りっこう幼稚園開園70周年記念式典

去る11月23日(祝)、新設されたりっこう幼稚園新園舎礼拝堂にて、当日本力行会創立120周年及びりっこう幼稚園開園70周年記念式典が開催され、多数の関係者及び来賓が参加、当日は遠路はるばるブラジルよりブラジル力行会の岡崎会長ご夫妻やボンベア西村財団代表の西村治郎ご夫妻もご臨席頂き、従来の会員・会友の逝去者祈祷を含めた力行祭記念礼拝を含め、多数のご来賓祝辞を賜るなど、当会まさに還暦2度目を迎え新たな1歩を踏み出す意義を確認できるのにふさわしい、感動的な記念式典が執り行われた。

式典は、まず会歌「力行奮闘の歌」を参加者全員で斉唱した後、当会チャプレンの尾山牧師による記念礼拝を実施、講話「新しい時代に向かって：共

生と変革を目指して」では2年前に尾山牧師自ら訪れたブラジル・アリアンサ移住地での体験を述べられ、「アリアンサ」つまり名前由来の「共生」の在り方として、あらゆる問題を通して又良き友との関わりの中で変革することでよりよく共に生きることができ、と述べられた。

続く主催者代表の村上理事長からは、本日お越し頂いた関係者各位にお礼を述べると共に、今年8月に幼稚園新園舎が無事完成したことの報告と共に、今後の法人の在り方として、嶋貫・永田両会長の法人設立の基本理念を忘れることなく、「学舎」たる人材造りに当会として今後も邁進することを述べられた。

来賓祝辞として、ブラジル力行会の



岡崎会長からは、自らのブラジル移住の体験に基づき、良い国際化とはまね



(村上理事長)

をしない「同化」であることの意義や、今後も日本と海外での力行会が共に発展する必要性、続く前川練馬区長、田中区議会議長、及び佐藤小竹町会長からは力行会の日頃の地域行政の活躍協

力お礼と今後の発展祈念を述べられ、記念式典は小泉理事の閉会の辞で無事お開きとなった。

閉会后、参加者一同で記念撮影会を行ったが、写真に収められた方総勢

100名余りと、ここ数年の間で一番賑やかな記念写真となり、その上でも大盛況、今後の会の発展が期待できる事が確信された風景に思えた。



(岡崎ブラジル力行会長 祝辞)

日本力行会創立120周年及び りっこう幼稚園開園70周年記念懇親会

記念式典終了後、場所を国際館地下ホールに移して実施された記念懇親会にも、式典同様沢山の方々ご参加頂き、大変賑やか雰囲気となった。

村上理事長の挨拶の後、現在多忙中にもかかわらず懇親会に出席された小池百合子東京都知事より、お祝いとりオ・オリンピックの感想と共に地球の反対側にいる同胞の存在と絆の今後の反映について述べられた。乾杯の挨拶は、ブラジル西村財団代表の西村治郎氏が担当、父・西村俊治氏の思い出と力行会の役割の大切さを述べると共に、記念の陶器額が当会に寄贈、ボル



(小池百合子都知事 祝辞)

トガル語と日本語による力行会らしい乾杯の温度で懇親会がスタートした。

今回の懇親会では、参加者により日本の文化を堪能してもらうことを当初より企画していたため、会食時には和楽器アンサンブルによる記念演奏会も同時に実施され、会場の雰囲気が大変和やかなものとなり（詳細は別項目にて紹介）、短時間ながらも参加者一同様々な分野の方々があちこちで会談されていたのが印象的、説園長による終演の辞で名残惜しくもお開きとなった。

今回の記念式典及び懇親会開催に当たり、多数の関係各位にご支援賜り、紙上をお借りして厚く御礼致します。



(ブラジル西村氏による乾杯)



(和楽器アンサンブル記念演奏会)



(記念懇親会の風景)

「記念式典懇親会・演奏」

昨年11月23日（水・祝）に、日本力行会の120周年及びりっこう幼稚園の70周年を記念し、式典、懇親会を開催しました。

懇親会の演奏を練馬区内にお住まいで、箏・三絃演奏家の松浪 千紫 様と当会館生でフルート・尺八演奏家の洲上 ラファエル 広志 様にご協力頂きました。

演奏をお願いするにあたり、リハーサルからお付き合いさせて頂きましたが、お二人の奏でる日本の伝統楽器の優しくも力強いその音色に心を奪われるだけではなく、お二人の聡明で謙虚な人柄に敬服致しました。本番の演奏は、二人のコラボによる、「春の海」から始まり、「泉」を奏でたのち、箏と尺八のソロを一曲ずつ、再び二人で「さくら幻想曲」、そして最後に「星に願いを」の6曲をご披露頂きました。懇親会に出席されていた方々からも感

動の声が聞かれるなど、日本の文化・伝統を伝えることができました。

お二人に感謝を申し上げますとともに、更なるご活躍を応援していきたいと思えます。

最後になりましたが、演奏家のお二人に懇親会の演奏につきまして、感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。（順不同）

この度ご縁を頂き、力行会の式典にて演奏させて頂きましたこと、そして職員の方々をはじめ、沢山の方にお世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。

これからも力行会の益々のご発展を祈念致しております。

箏・三絃演奏家 松浪 千紫 様

力行会の記念式典で演奏させて頂きましたこと、非常に嬉しく思っています。演奏会と式典も楽しく、お箏の松浪千紫さんと共に演奏する機会を頂きまして、大変光栄でした。

私は去年の3月に来日し、力行会館に住んでいるので、いつも会館生の皆様、事務所の職員の方々、管理人さん、また、近隣の方々に大変お世話になっております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

フルート・尺八演奏家

洲上 ラファエル 広志 様



学校法人 **りっこう幼稚園だより****いも堀り遠足**

ももぐみ担任 新郷 茜

11月4日、さわやかな秋晴れに恵まれ、川越のあらはた園へ、芋堀り遠足に行ってきました。朝、先生と顔を合わせると「私のお家には、パパとママと私がいるから3人分のお芋を掘るんだ!」とお話ししてくれたり、「こうやって沢山掘ろうね!」と友達同士シュミレーションをしながらの会話があり、行きの道中から、子ども達の心には期待が溢れ出ていました。

畑に着くと、小さな手で一生懸命土をかき分けました。最初は「先生、でてこないよ。」と言う姿もありましたが、「お芋見えた!」とキラキラとした瞳で教えてくれたり「つながってる!」「こんなに大きいよ!」「ロケットみたいな形!」「もう袋が一杯だ!」など、自分の手でのお芋を収穫できたこ

とに大喜びをしていました。ゆりぐみはお芋に加えて大根も収穫し、「僕たちは大きいから掘れたんだ!」と自信たっぷりに教えてくれました。

手を泥だらけに一生懸命に頑張った後のお弁当は最高だったようで「みんなでお食べるとおいしいね。」「お外で食べれてよかったね。」と笑顔を見せたり「おやつ交換しようよ!」と普段できない遠足ならではの特別な時間を楽しんでいました。お弁当の後には、もも組は掘った後の広大なお芋畑で、すみれ・ゆり組は少し離れた雑木林での自由遊びを楽しみました。

帰りのバス車

内では寝てしまう姿も。しかし、その寝顔からも、皆で過ごす楽しさ、神様が下さった秋の実りに触れ、充実した1日となったことが伝わってきました。この経験が子ども達の心に刻まれるよう願っています。

**収穫感謝祭、芋煮会**

ももぐみ担任 林 千尋

十一月十四日に収穫感謝祭と芋煮会を行いました。収穫感謝祭では自分の家からみかんを持って来て、神様がくださった秋のめぐみに感謝の気持ちを込めながら、そのみかんを礼拝堂の祭壇に捧げます。その他にも幼稚園で採れたくるみ、いもほり遠足で掘ったさ

つまいもを捧げ、この日の礼拝は行われました。

芋煮は子どもたちが家から野菜を持ち寄り作りました。外遊びの時間に360人分大鍋二つの大量の芋煮が煮えるのを見ながら遊びました。作ってくれた先生が味見をする姿を見て「いいなあ、早く食べたいな。」の声が聞かれ、出来上がるのを今か今かと楽しみに待ちました。

この日はゆり組のお友だちがもも組とすみれ組のお部屋に来てくれて、一緒に芋煮を頂きました。「コンニャク大好きなんだ。」「にんじん食べられなかったけど、食べられるようになったんだよ。」出来立てホカホカのいも煮を食べながら会話も弾みます。大鍋で作る芋煮は里芋がとろとろに煮えてい



て、そのおいしさは格別でおかわりをする子が後を絶ちませんでした。

みんなと一緒に神様がくださっためぐみに感謝をし、そしてそれをおいしくいただくことが出来た、りっこう幼稚園ならではの行事になりました。



クリスマス会

すみれぐみ担任 内田 麻衣

12月13日・14日・15日の3日間、クリスマス会を行いました。最初のアドベント礼拝で暗闇の中1本目のろうそくに火が灯ると、「明るくなったね!」とほのかに見える友だちの顔をのぞきながら4本目に火が灯る日(クリスマス会)を心待ちにしていました。クリスマスの絵本をみたり話を聞いたりする中でクリスマスの意味を知り、聖劇

の1つひとつの役を大切にして思いを深めながらアドベントをすごしました。いよいよ当日。ももぐみはみんなで羊になり聖劇をしてゆりぐみと共にイエス様のお誕生日をお祝いします。

「メエメエ」



と口にしながらい人ひとりが自分らしい羊となって舞台にあがることができました。それぞれの役を神様から頂き、セリフを言うすみれ・ゆりぐみは“一つでも役・セリフがなくなると劇はできない全て大切な役”と心をこめて自分が与えられた

役になり、自信をもって舞台にあがり、友だちと共にクリスマスのお祝いをすることができました。聖劇の前の礼拝で尾山牧師が、この世がどれ程愛されているかを話して下さいました。クリスマスを通して子どもたちが神さまからの愛を存分に感じ、周りの人からも愛されていること、自らも周りの人や物を大切にするを改めて感じられるよう願っています。

もちつき大会

すみれぐみ担任 伊藤 理佳

一月十三日、お天気に恵まれ青く澄んだ空の下で、もちつき大会を行いました。朝登園してきた子ども達は、「おもちをつく練習をしておこう!」「ぺったんこ・ぺったんこ!」とやる気は充分。園庭では、お手伝いに来て下さった保護者の方達で準備が進められ、その様子を見て、「まだかな?」とそわそわしていました。

まずは、目の前でお父さん方がおもちをついて下さいます。その迫力に「おお!」と驚きながらも、「よいしょ!よいしょ!」とみんなで声をかけ合いました。いよいよ自分達がおもちをつく順番がまわってくると、きねの重さにびっくりしながらも、一生懸命おもちをついていました。全員がつき終わると、「これでおいしくなったね」「楽しかった」と嬉しそうに言葉をかわす

姿も見られました。つきたてのおもちはとても柔らかく、目の前でびよんと伸びる様子に、「すごい!」と大興奮でした。

お部屋に戻ると、おしょうゆときなこで味付けされたおもちが準備され、食べ始めた子ども達は、「おいしい!」と大絶賛。お友だちと「私はしょうゆが好き」「きなこでしょ!」と味わい

ながら、おいしいおもちにおかわりが止まらない様子でした。

保護者の方々のたくさんのお手伝いのもと、季節ならではの行事に参加できる喜びと感謝を忘れず、これからも神様の恵みに感謝しながら毎日を過ごしていきたいです。



力行会館年末行事

芸術と男気の
イヤーエンド・パーティー

去る12月17日にイヤーエンド・パーティーを開催しました。パーティーは会館生が楽しむため、そして日本語ボランティアの方々、役員の皆様のために開催しております。世界と日本の人々が繋がる国際交流の一時でもあります。

今年度のイヤーエンド・パーティーはいつもとは少し趣向を変えました。一言で申せば、「才能」を詰め込んだパーティーです。その芸術を披露する場として相応しく、パーティー会場となった現「国際館地下ホール」(前チャペル)は当会の擁するエンジニアによりリフォームが行われ生まれ変わりました。

さて、本パーティーでは会館生の様々な才能を披露してもらいました。1つはブルネイとタイから来日している会館生のナディアさん、ファラさん、ピンキーさんにギター弾き語りをして頂きました。キロロの「未来へ」や外国語曲を歌って頂きました。出演の打診時は恥ずかしそうにしておりました

が、いざとなると緊張する様子もなく大胆に歌い上げてくれました。オーディエンスの皆さんも一緒に歌い、とても盛り上がりしました。

その次の演目では、会館にすんでいるフルートと尺八演奏者の測上ラファエルさんは素敵な演奏を披露していただきました。音楽大学の博士課程で研究をしている音楽家です。美しい音色が会場に流れ、皆はうっとりしていました。

そして、食事が終わり、椅子取りゲームとビンゴゲームが終り、パーティーの締めくくりとして、武蔵大学の応援団の方に協力の頂き、応援歌を唄って頂きました。長ランにリーゼントと丸刈り、硬派な日本男児は脈々と活動しているのです。日本文化の一旦を垣間



理事長挨拶 会館生による翻訳付きでした。

見る事が出来ました。その応援団の中に一名の良く知った顔が混じっておりました。なんと日本語講師の大矢様が中央に。実は大矢様は武蔵大学に通われているれっきとした現役の学生です。

この度はサプライズの多いイヤーエンド・パーティーとなりました。



ギター弾き語り



フルート演奏



恒例のビンゴ大会



ビンゴ景品当選



当選の喜び



応援歌披露

「共生の大地 アリアンサ」感想文

読者感想文
原タイスさおり

【共生の大地 アリアンサ】 著者：木村快

アリアンサ、日本に住んでいた頃もブラジルに戻った頃も聞いたことのない言葉でした。アリアンサとはなんなのか、弓場家とは？その関係は？気になることはたくさんあります。

今回木村快さんに来ていただき教えていただきながら木村快さんが書かれた本を読ませていただきました。

まず書かれていたのはユバの人々についてでした。みんなが言う「弓場から来たの？」とか「弓場ってすごいらしいね」とか正直分からなかったし、同じ移住民なのになにがすごいのか？が本心でした。ですが弓場勇さんとは偉大な人なんだと初めて理解しました。

折り、耕し、芸術する農場。力で戦争するより、みんなで豊かになることを大切に。貧しくてもいいからみんなが楽しく働いて芸術活動も豊富に、子供達と一緒に働き日本語を学び、村一体が一つになっている感じがとても聞いていて好きです。

私は二代目会長の永田さんの言葉で「見知らぬ外国で暮らす時、一人では弱いけれど助け合うことができれば立派にやっていくことができる」という文にとっても共感を得ました。ブラジル社会と仲良くやっていきたいと願いをこめてアリアンサ。その活動は、これから移住してくる人たちのための村づくりであってこのような活動がなければ私たちの住む場所もなかったであろうと理解しました。

私はアリアンサのことも、力行会のことも知らなかったですが影ではこういう方たちの働きがあってこそブラジルに移住ができて仕事ができている人もたくさんいたんだと感じました。

今回このアリアンサ、力行会を知る授業があり、自分の祖父母の歴史を深く知りたいと思えるようになりました。祖父はどこ出身なのか、どうしてブラジルにやってきたのか、どの船でやってきたのか、どこに移住をし生活をし、祖母と出会い、知れば知るほど興味深くなりました。調べてたらアリアンサとの関係など出てきたりするかもしれない。両親でさえ、知らないこともたくさんでてくるかもしれません。このような歴史を知る機会がなければ移住者の歴史、家族の歴史を深く考えることがなかったと思います。

私はまだ移民の歴史を深く知れてはいないと思います、これから調べていき日系ブラジル人の歴史についても知れたら良いと思います。

上原富美哉先生へ

平成 28 年 11 月 2 日 (木)
りっこう幼稚園研修生
新明 チェリー

アリアンサ感想文

Aliança

O livro conta a história da criação da fazenda Yuba que foi fundada antes da segunda guerra mundial, com intuito de erguer uma nova comunidade japonesa nas terras do Brasil, sobre o papel importante que Rikkokai teve em trazer estudantes para o Brasil e da "verdadeira" história das Três Alianças. Mas por alguma razão sua história estava incompleta, percebendo isso, Kai Kimura iniciou uma série de pesquisas procurando saber a verdadeira história por trás de tudo, entrevistando também moradores da fazenda. As suas pesquisas chegaram a Shungoro Wako que era parte muito importante do início da fazenda, mas não achava relatórios sobre ele.

Kai Kimura visitou a Fazenda Yuba em 1978 e 17 anos depois em 1995. Em sua primeira visita, ele ficou supreso como ainda descendentes de japonês (nikkeis) falavam com fluência a língua japonesa e de como tudo era trabalhado em equipe: o trabalho agrícola e principalmente o Balé Yuba. Comunidade que mais de 80 anos a vida cooperativa é real.

A Fazenda é feita da bondade das pessoas que não pensam em passar a perna no outro. Vontade de Kai Kimura de saber mais sobre a comunidade Yuba, fez com que ele acompanhasse a vida de pessoas como Shungoro Wako, Shigeshi Nagata (segundo presidente da Nihon Rikkokai) e Isamu Yuba (fundador da comunidade Yuba) e aprender sobre a história comunitária da Aliança e que existiram muitos japoneses pioneiros que batalharam em busca de cooperativismo no interior do Brasil.

各国会員の便り 年賀状

明けましておめでとうございませう
本年も早々に美しいカレンダーもお送り頂き
又何時も楽しみにしている力行世界をお送り下さるの
有難うございます
此の度も一口分だけですが同封しましたお返り下さい
本年も職員一同様とご家族様にとりまして
佳い年でありますよう心から祈り申し上げます
二〇一七年元旦
柳一同様
(フラスコ会員)
小野出司

Merry Christmas and Happy New Year

カレンダーを早々と送って頂き、感謝します。「力行世界」で本部のいろいろなニュースを知ることが出来て感謝です。会館生が各国にわたり、英語や、その他の外国語による記事も増えて、国際化が益々、身近になっていることが感じられます。

カルガリーにも、この10日間は本格的な寒さがやって来しました。北極圏からの寒波なので、カナダ全土に雪が降り、多くの都市で雪害も起きています。気温も連日-10℃から-20℃位で、体感温度は-30℃にもなり、寒さに弱い私には、つらい毎日です。ただカルガリー市域では雪が少ないので、その点は助かります。

村上理事長はじめ、職員の皆様方の御多幸をお祈り致します。

カルガリーより 伊能 弘治

e-Mail k.inou@hotmail.co.jp

謹賀新年

謹んで年始のご祝詞を申し上げます。
旧年中は当協会へ格別のご厚情を賜り、ありがとうございます。
今年も変わらぬご指導ご教誨のほど宜しくお願い申し上げます。
2017年 元旦

オキナワ日本ボリビア協会
会長 中村 清史
他 役員一同



Feliz Navidad
y
Próspero Año Nuevo
Que la alegría de la Navidad señale el principio de un Año
de optimismo donde cada deseo sea un puente hacia el
progreso.
Son los sinceros deseos de:
Asociación Boliviana Japonesa de Okinawa
Okinawa, Santa Cruz - Bolivia
Diciembre de 2016



前略
大變遷の年、手紙で失礼致します。
祖父が京都府の渡前町の貴重な
資料をお送り頂き、本当にありがとうございます。
海外の飛行機の大騒ぎを抱え、若き日の祖父の足跡を
知ることが出来ました。
日本力行会の先生方の御指導御尽力に對しまして
心より感謝申し上げます。
早速お伺いするべきところ、商断の両親の介護で時間が
取れず申し訳ありません。時間の余裕が出来
ました。是非共にお伺いして御礼を申し上げる所と思
ひます。気持ちだけ物ですが祖父と私共の
坂城の特産品です。是非御賞味下さい。
尚祖父は帰国後結婚により吉原姓と
なりました。
十二月十九日 吉原 (日本会員)

Que o sentido do Natal esteja sempre presente em
nosso dia-a-dia e que a esperança seja um
objetivo concretizado.

Feliz Natal e um Ano Novo
de muitas realizações!

São os votos da Diretoria e funcionários
da Associação Pan-Amazônia Nipo-Brasileira

Junji Kunita
Presidente da ANPB

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます
汎アマゾンニア日伯協会
会長 生田 勇治
フラスコ会員



Associação Pan-Amazônia Nipo-Brasileira
Travessa 14 de Abril nº 122 - São Bras
CEP: 69000-000 Belém - Pará

Ano do Galo, Segundo a Astrologia Chinesa, 2017 será governado pelo Galo, animal que
representa a proeza e a perfeição. O ano terá domínio, harmonia e prosperidade, e exigirá
disciplina e esforço para atingir o sucesso.

Kazuki & Miyoko Yamada
211 S 6th St Apt 102
Alhambra CA 91801-3621
U.S.A.

カリフォルニア州 262-570-1452
e-mail: k.yamada122@att.net
A Savior has been born for you.
He is Christ, the Lord.
John 1:17 Luke 2:11
二〇一七年
山田 和明
みよ子
(アメリカ会員)

MAY THE BEAUTIFUL GIFT OF JESUS
FILL YOUR HOME THIS HOLIDAY SEASON
AND THROUGHOUT THE COMING YEAR.

Merry Christmas

当会関係者の豆情報

村上理事長のご家族は、御孫さんにも10人と恵まれていらっしゃるほどの大家族と耳にいたしております。親戚筋も多いのではと推察しながら、甥子さんの一人・山浦雅大さんのご活躍情報で、今回は力行世界の小スペースを満たさせて頂きます。

山浦さんは奇しくも当会創立日と同じ元旦の誕生で、まだ30（歳）台の若い脚本家です。立教大学時代から創作活動を始められ、2002年には早くも、第14回フジテレビヤングシナリオ大賞を受賞され、30余作ものの脚本創作や脚本協力を続けられています。

本年は、日本テレビで『銭形警部』（出演：鈴木亮平、前田敦子）脚本が放映され、KADOKAWA『ハルチカ』脚本が3月4日から全国でのロードショー（出演：佐藤勝利、橋本環奈。脚本・監督：市井昌秀）となります。

映画やドラマファン諸氏により楽しんで頂き、応援頂ければ幸いです。

山浦雅大

〔TV〕

2017年 日テレ/WOWWOW/Hulu「銭形警部」脚本
2017年放送予定（出演：鈴木亮平 前田敦子）

〔映画〕

2017年 KADOKAWA「ハルチカ」脚本
2017年3月4日全国ロードショー（出演：佐藤勝利（SexyZone）
橋本環奈 脚本・監督：市井昌秀）

平成28年12月5日開催の理事会及び評議員会で、学校法人 日本力行会の理事、監事と評議員ほかの新役員体制が下記の通り決定致しました。任期は2年間です。

記

理事長	村 上 悦 榮
理 事	五十嵐 和 代
理 事	大 越 紀 史
理 事	小 泉 知 定
理 事	佐 藤 璋 二
理事（評議員）	山 賀 博 通
理 事	幸 脇 一 英
理 事	説 寿 弘
監 事	林 文 夫
監 事	横 尾 紀 彦
顧 問	今 村 忠 雄
顧 問	上 原 富美哉

以上

備考1. 前評議員代表兼理事 中嶋春洋氏の理事辞任に伴い、新たに評議員代表兼理事に山賀博通氏が選任されました。
2. 前評議員 上原富美哉氏の評議員辞任に伴い、新たに顧問を委嘱されました。

評議員	浅 見 均
評議員	井 口 弘 一
評議員	角 井 美穂里
評議員	小 嶋 稲 子
評議員	佐 藤 佐記子
評議員	佐 藤 治 子
評議員	高 橋 徳 行
評議員	橘 正 克 豊
評議員	田 丸 秀 行
評議員	土 田 春 洋
評議員	中 嶋 國 雄
評議員	中 野 欽 三
評議員	広 津 昌 宏
評議員	丸 山 昌 宏
評議員	門 間 めぐみ
評議員（理事）	山 賀 博 通
評議員	和 田 敦 彦

以上

備考1. 前評議員 茵部俊介氏の辞任と評議員空席1名に伴い、新たに評議員に井口弘一氏と橘正克氏が選任されました。

日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立120年を迎えました。「日本民族の霊肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生会館・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎え、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境づくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたくお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々へのご紹介も合わせてお願いいたします。

末筆に成りましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。敬具

『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』制度についてのお知らせ

個人会員 年額一口 ￥3,000円

法人会員 年額一口 ￥20,000円

〔口数の制限はございません。会員期間＝平成29年4月1日～平成30年3月31日〕

（会員特典）

★各種講演会などの行事のご案内

★機関誌「力行世界」のお届け

★ゲストルームの優待宿泊利用（一泊4,000円を500円引き年間7泊まで）

（ご送金方法）

同封の郵便振替用紙をご利用ください。

（口座番号が変更となっております。ご注意ください!）

平成29年2月15日発行
年4回発行(1・4・7・10月号)
発行
(学法)日本力行会

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX. 03-3972-1264

E-MAIL: rikko@rikkokai.or.jp

ホームページ

http://www.rikkokai.or.jp